

心に残る文化財子ども塾 松江市立恵曇小学校

1. 活動の概要

7月4日（木）、松江市立恵曇小学校の6年生10人と、「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」の学習活動を同小体育館で行いました。

はじめにまず、奈良時代の恵曇小学校周辺の遺跡について、解説しました。つぎに荒神谷遺跡銅剣、加茂岩倉遺跡銅鐸の模鑄品で鑄造技術の説明をして、大仏建立の技術について学習しました。

子どもたちに奈良時代の須恵器を見てもらうとともに、荒神谷遺跡銅剣の模鑄品に触れて重さなどを体感してもらいました。また、全国で唯一完全な形で残る奈良時代の地誌『出雲国風土記』の恵曇郷部分も読み、貴重な文献から砂丘と人々のくらしを説明しました。

大仏パネルの体験ではまず、ワークシート「大仏クイズ」を行い奈良の大仏の基本的なことについて学習しました。奈良の大仏を実際に見たことがない子どもたちに、職員が大仏に込められた意味やその姿を簡単に説明しました。

最後に、「大仏パネル」の体験を行いました。子どもたちは、体育館の床全体に散らばったパネルを組み合わせ、大仏を完成させると、2階からながめたり、パネルの上で並んで写真撮影してもらいながら、大仏の大きさを実感していました。

2. 活動の様子



3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- ぼくたちが住んでいるところの近くにもいろいろな物がみつげられていることにびっくりした。
- 私は古墳が好きだったので、土器をさわった時、ワクワクした。
- クイズはちょっとだけむずかしかったけど、答え合わせの時、解説してもらってよくわかった。
- 完成した大仏パネルを上から見たとき、上手にできていたうれしかった。

2) 担任の先生から

「大仏パネル体験」だけではなく、専門的な視点で地域のふるさと学習、また、ワークシートを使って確認するなど、様々な学習活動を取り入れていただき、ありがたかった。

セキュリティの関係だと思いますが、指導案等の資料をやりとりする際に、うまく届かなかった。メール添付する際に確実に届く方法が明確だとスムーズだと思う。

3) 古代文化センターから

2コマ連続の長時間の学習活動でしたが、児童の皆さんも興味を持って、座学と体験活動を行ってもらえたと思います。やはり、座学よりも「大仏パネル」の体験の方が印象に残った児童の方が多かったと思います。また、質問も多く出て、まとめの時間も活発だった点もよかったです。地域の歴史にも興味関心をもってもらって、鹿島歴史民俗資料館や八雲立つ風土記の丘、古代出雲歴史博物館などの展示も見学してもらえるとより理解が深まるかと思います。